

佐世保市児童文化館

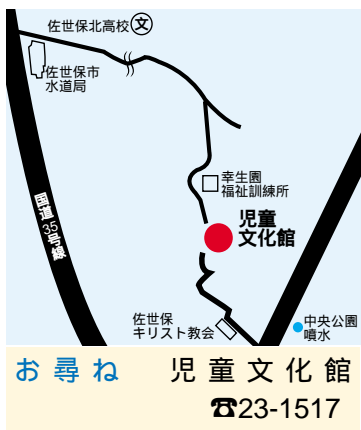
科学や生き物などについて学ぼう

児童文化館では、芸術や科学などへの理解を深めてもらうため、小・中学生を対象にした文化教室や科学教室などを開催しています。プラネタリウム館では、天体に関心を持ってもらおうと、年間を通して季節の星座などを紹介しています。また、児童文化館屋上の天体観測室では、大望遠鏡で星座や惑星などを観察する天体観望会を開催しています。



プラネタリウム館

内容 天文話題「宇宙でのくらし」、夏の星座紹介、神話「おとぎ話」
開始時間 土・日曜 9時30分、11時、13時30分、15時
平日 15時（夏休み中は土・日曜と同様に4回放映）
入館料 高校生以上200円
小・中学生80円（30人以上の団体割引あり。子ども会などご利用を）



お尋ね 児童文化館 ☎23-1517



プラネタリウム

天体観望会

夏の星座と月をみよう。月のクレーターと夏の大三角を観察しよう。

とき 8月21日（土）、28日（土）
19時～21時 雨天・曇天の場合翌日に延期
ところ 児童文化館・天体観測室
参加料 無料
申し込み 電話で先着各50人（中学生以下は保護者同伴）



天体観測室の望遠鏡

秋に開催される「科学工作教室」の参加者募集

草花を使ったしおり作り

とき 9月18日（土）9時～11時
対象 小学3年生～中学生
定員 先着20人
参加料 無料

コロコロアイスクリーム作り

とき 9月18日（土）13時～15時
対象 小・中学生
定員 先着20人
参加料 200円

ペットボトルロケット

とき 9月25日（土）9時～11時
対象 小学4～6年生
定員 先着20人
参加料 100円

ウグイス笛を作るう

とき 9月25日（土）13時～15時
対象 小学3年生～中学生
定員 先着25人
参加料 無料

申し込みは、8月12日（木）から受け付けます。電話または来館してお申し込みください。

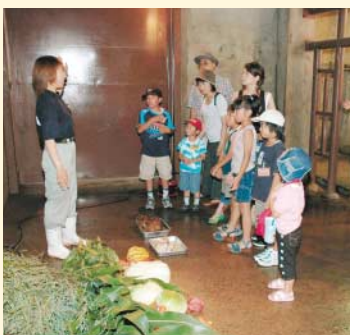
昆虫・植物・貝・岩石などの名前を調べる鑑定会

採集した物や調べたい物を持参して、来館してください。理科の研究についての質問も受け付けます。

とき 8月29日（日）
10時～12時、13時～15時
対象 市内の小・中学生
参加料 無料

動物獣舎探検隊

普段は見るできない動物の獣舎を見学



ゾウの獣舎で、えさなどについて職員から説明を受ける参加者



へびを職員から巻きつけてもらう参加者

最後は、へびを触る体験をしました。かまれないように口を固定されたへびを、はじめは恐る恐る触っていた子どもたちも慣れてくると、職員から首に巻きつけてもらって楽しんでいました。

両親や弟の亮太朗くん（3歳）と一緒に参加した清水小学校4年生の木寺侑一郎くんは「動物園には何度か来たことがありますが、今回初めて獣舎を見学することができてよかったです。へびを首に巻きつけることができて面白かったです」と話してくれました。

8月の動物獣舎探検隊

とき 8月14日（土）、28日（土）
11時～11時45分
参加料 無料（入園料は必要）
申し込み 電話で先着各20人
用意する物 記念撮影用のカメラ

佐世保市亜熱帯動植物園

亜熱帯動植物園は昭和36（1961）年に長崎・佐賀両県下で最初の動植物園として開園しました。



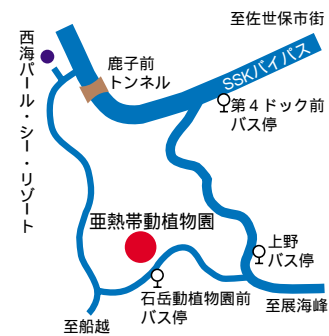
現在、330点以上の動物と21,000点におよぶ植物が展示されています

チョウを探そう！

とき 8月15日（日）13時
内容 園内のチョウを採集したり、セミやトンボなどのスライド写真を見たりして学習します
用意する物 筆記用具
申し込み 当日、園入口の窓口で

「動物の生態とからだの仕組み」学習会

とき 8月22日（日）13時
内容 標本などによる野生動物の生態などの学習
申し込み 電話で先着30人



お尋ね 亜熱帯動植物園 ☎28-0011

とき 9月3日（金）～5日（日）
内容 出展数は約百五十点。盆栽についての相談会、即売会もあります

草もの盆栽展示会

いずれも参加料は無料（入園料は必要）
8月7日（土）、14日（土）は、開園時間を19時までに延長します。（入園は18時45分まで）

バラの夏期せん定講習会

とき 8月29日（日）13時から
用意する物 採集物、筆記用具
申し込み 当日、園入口の窓口で

とき 8月29日（日）10時30分
内容 せん定の要領や管理方法
申し込み 電話で先着50人程度
用意する物 手袋、はさみなど

捕まえた昆虫や植物などの名前を調べよう！

バラの夏期せん定講習会

動物獣舎探検隊は、普段は見るできない動物の獣舎を見学したり、ゾウにえさをやったりして、動物の生態や自然保護の重要性などを学ぶ人気イベントです。取材に訪れた7月3日は、親子連れなど約20人が参加しました。はじめに、参加者は通常は締め切られている門を通ってゾウの獣舎を訪れ、職員から渡されたリンゴをゾウに食べさせる体験をしました（写真右）。ライオンの獣舎は、鉄格子があつて安全なのですが、参加者は目の前でほえるライオンに、圧倒されているようでした。

